

October
2013

The Record

vol.647

ダンス教育の現場から
2013 年度 CD レンタル店実態調査
今年度レコード寄贈事業実施



RIAJ
Recording Industry Association of Japan

Contents

Monthly News Digest.....	1
特 集	
ダンス教育の現場から	3
特 報	
2013 年度 CD レンタル店実態調査	7
今年度レコード寄贈事業実施	9
平成 25 年度一般社団法人日本レコード協会 寄附講座「コンテンツビジネスと法」横浜国立 大学にて開講.....	10
「オーディオ・ホームシアター展 2013」開催...	11
インターンシップ実習生受け入れ.....	11
ヒット曲で振り返る昭和	12
Monthly Production Report	13
GOLD DISC	14

8/5

「大人の音楽～Age Free Music～」第10弾キャンペーン 懇親会開催

8月5日、東京都港区の共同通信会館5階会議室において、「大人の音楽～Age Free Music～」第10弾キャンペーン懇親会が開催された。当日は、販売店・マスコミ関係など業界関係者約80名が招かれ、7月23日にスタートした同キャンペーン第10弾の概要紹介が行われた。

冒頭、当協会高杉常務理事の挨拶にて「業界全体の施策として、更に市場の拡大に繋がる機会となるよう期待している」とのコメントがあり、あわせて、本キャンペーンに協力いただいている販売店、卸代行店、メディア、参加メーカーに謝辞が述べられた。引き続き「Age Free Music」提唱者の富澤一誠氏による乾杯のご発声があり、その後の歓談中には、本キャンペーンと連動するメディアや販売店などの関係者より、富澤氏との本キャンペーンにまつわるエピソードや、期待の言葉が寄せられた。最後に、同キャンペーン分科会の座長を務めるユニバーサルミュージック喜本副社長の挨拶とともに、キャンペーン参加15社のメーカー



担当者の紹介がなされ、懇親会は盛況のうちに幕を閉じた。

(大人の音楽～Age Free Music～
キャンペーンサイト)

<http://www.riaj.or.jp/otonanoongaku/index.html>

8/23

一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構設立

8月23日、一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構の設立社員総会ならびに第1回理事会が開催された。

同法人の設立は、放送番組の海外展開強化にとどまらず、放送番組をテコに、日本の商品やサービスの海外マーケット全体の拡大を図るべく、産業分野の枠を越え、そして省庁の枠を越え、国家戦略であるクールジャパン戦略やビジットジャパン戦略の実現に資するため、幅広い分野のプレーヤーが参加した放送コンテンツの海外展開の推進体制を構築することを目的としている。

設立社員総会ならびに第1回理事会では、設立時理事の選定・承認がなされ、設立時代代表理事には住友商事株式会社・岡素之相談役が就任し、挨拶が行われた。

なお、同法人の設立時社員は以下の通りであり、また、設立時理事として当協会の北川直樹副会長が就任した。

■一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構 設立時社員

スカパー JSAT 株式会社

住友商事株式会社

株式会社 TBS テレビ

株式会社テレビ朝日

株式会社テレビ東京ホールディングス

株式会社電通

一般社団法人日本音楽事業者協会

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

日本テレビ放送網株式会社
日本放送協会
一般社団法人日本民間放送連盟
一般社団法人日本レコード協会
株式会社博報堂 DY メディアパートナーズ
株式会社フジテレビジョン
株式会社WOWOW

9/3~4

IFPI(国際レコード産業連盟) アジア地域会議開催

9月3~4日、台湾・台北においてIFPIアジア地域会議が開催され、当協会から畑理事、吉田CPPCセンター長、企画部 越坂部係長が出席した。

同会議は、IFPIアジア地域事務所が毎年1回主催する会議であり、アジア地域各国のIFPI支部ならびにIFPIロンドン本部、IFPIアジア地域事務所から約50名が参加した。会議では、調査統計、レコード使用料の徴収・分配、海賊盤およびオンライン上の著作権侵害対策、法制度における課題などのテーマについて、IFPIロンドン本部からのグローバル・ポリシーの説明と各国からの状況報告などに基き、活発な意見交換が行われた。

当協会は、著作権侵害対策について、CPPC(著作権保護・推進センター)による削除要請強化の進捗状況、違法な音楽利用を助長するスマートフォン向けアプリに対する取り組みなどについて説明するとともに、違法ダウン



ロード罰則規定の周知を目的とした広報・教育活動や現状の効果などについて説明を行い、各国から高い関心が寄せられた。

9/6~8

インドネシア・ジャカルタで J-Music LABプロモーション 活動を開始

当協会は、海外向け施策の一環として11月15日から一カ月間、インドネシア・ジャカルタで実施する「J-Music LAB(ジェイ・ミュージックラボ)」のプロモーション活動として、9月上旬にジャカルタ市内で行われた2つの日本関連イベント「ジャカルタ日本祭り(JJM)」 「Anime Festival Asia Indonesia(AFAID)」内でブースを出展し、フライヤーの配布を行った。

JJMでは9月6~7日の2日間プラザ・スナヤンにて、AFAIDでは9月6~8日の3日間ジャカルタコンベンションセンターにて、それぞれブース内でフライヤーを配布し、現地の人々へ周知活動を行った。フライヤーを手にした現地の日本音楽ファンからは、本イベントを歓迎する声が多く聞かれた。



AFAID ブースの様子

J-Music LABは、10月より本格的なプロモーション活動をスタートさせる予定だが、今回、日本関連イベントとして多くの集客のあるJJMならびにAFAIDにおいて事前プロモーションにおける好感触を得たことで、今後のプロモーション活動にも大きな弾みがつくものとなった。

RIAJ2013年9月度理事会議案

審議事項

1. 教育・文化・冠婚葬祭分野における複製権集中管理事業化について

報告事項

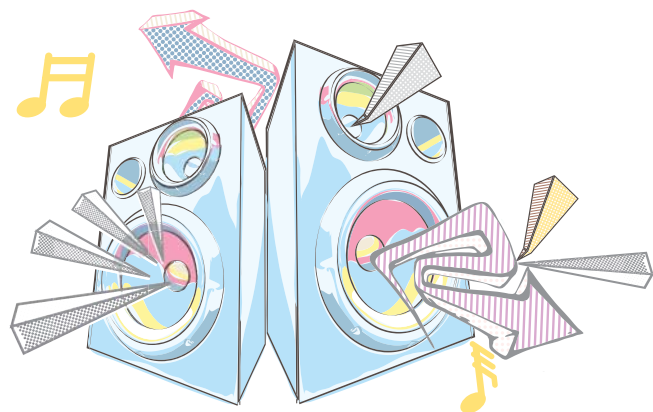
1. 法制委員会関係報告
 - (1) 文化庁・出版関連小委員会(7/29・9/5)報告
 - (2) 文化庁・法制基本問題小委員会(8/7・9/12)報告
 - (3) 海外番販原盤権処理に関する実験協議会報告
2. 著作権保護・促進センター関係報告
 - (1) 2013年7・8月度活動状況について
3. マーケティング委員会関係報告
 - (1) 消費税率の引き上げに伴う価格表示の変更などについて
 - (2) ミュージック・ジャケット大賞2013受賞作品決定について / ミュージック・ジャケットギャラリー2013実施報告
 - (3) 大人の音楽キャンペーンTV報道について
 - (4) 2013年度廃盤セール実施概要について
 - (5) 2013年度レンタル店調査結果報告
4. 広報委員会関係報告
 - (1) 「GOLD DISC FESTIVAL」へのノミネート開始について
 - (2) 「違法ダウンロード罰則化」などの周知キャンペーン上期実施報告
5. 海外市場拡大委員会関係報告
 - (1) J-Music LAB 派遣アーティスト決定について
 - (2) 第10回東京国際ミュージックマーケット開催概要報告
6. その他報告
 - (1) 予算委員会の体制と進め方について
 - (2) jmd 関係報告
 - (3) 罰則化関係報告

ダンス教育の現場から

「そもそもダンスは、人類最古の文化の一つであり、踊りを持たない民族はないといわれるように、今日に至るまで、時代とともに変容しながら常に人間の生活と深く関わって存在してきた文化です」。(文部科学省) 学校体育実技指導資料からの一節である。言葉よりも先にあったと言われるダンスは、はるか昔から人間の思いや欲求をプリミティブに表現する手段であり、年齢や国籍、言葉の壁をも越えて人と人を繋げてきた存在として意義深いものである。

様々な種類のダンス・舞踊が存在する現在、2011年小学校、2012年中学校そして2013年からは高校と、体育の授業でヒップホップやロックなど現代的なリズムダンス（いわゆる『ストリートダンス』）が導入され、「ダンス必修化」として話題を集めている。学校授業では「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムダンス」の3種から1つを選択することとなるが、中でも『ストリートダンス』はファッション性、音楽性が高くカルチャーとしてのムーブメントが存在するなど注目を受け、昨今ではレコード会社がダンス教育に関する事業を展開する動きも見られる。

今号ではダンス教育の現場に携わる方々にお話を伺い、その支援内容とともに必修化後の教育現場の状況や今後の取り組みなどを発信する。紙面を通じ、ダンスの重要要素である「音楽」の役割を一考する糸口にしていただければ幸いである。



なぜ、ダンスが必修になったの？

多くの領域の学習体験をさせた上で自ら適した運動を選択できるようにするため、第1学年及び第2学年を通じて、これまで選択で実施されていた「ダンス」と「武道」を含め、すべての領域が必修となったからです。

(文部科学省) 一新学習指導要領 中学校保健体育【ダンス指導のためのリーフレット】より

「表現運動系及びダンス」のねらい 心と体をより一体としてとらえること

「体を動かすことが、身体能力を身に付けるとともに、情緒面や知的な発達を促し、集団的活動や身体表現などを通してコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う活動などを通して論理的思考力を育むことにも資する」

(文部科学省) 学校体育実技指導資料第9集「表現運動系及びダンス指導の手引」より



ダンス授業をトータルにサポートする 「踊育プロジェクト」



公益社団法人日本ストリートダンス
スタジオ協会（NNSA）

代表理事

吉田健一氏



ユニバーサル ミュージック合同会社
ニュー・ビジネス・デベロップメント
ストラテジックマーケティング
パートナーシップ事業部
部長

岩崎浩成氏



ユニバーサル ミュージック合同会社
ニュー・ビジネス・デベロップメント
ストラテジックマーケティング
パートナーシップ事業部
アカウント・プランナー

芳賀奈々子氏

「踊育プロジェクト」立ち上げの背景とは

- ー 公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会（NNSA）の成り立ちとこれまでの活動をご紹介します。

吉田 学校教育の保健体育でダンスの必修化が決まったのは2008年でした。必修化は決まったものの、教育現場でダンスを十分に指導できるのが問題視され、先生方が戸惑う状況がありました。ダンス業界ではそれを受けて、学校、先生をサポートする体制が必要と考え、その役を担うNNSAを2008年12月に設立したのです。

以降NNSAでは、教育連携で保育園や幼稚園から小・中学校、高等学校の各年代で行われるダンス教育をサポートしてきました。学校へのコンタクト方法もわからない状況から始めて、手探りでやってきました。当初はインストラクター派遣を中心にしていましたが、いつまでもたっても先生が踊れない現実がわかり、教員向けの無料研修を軸に据えるようになりました。昨年は103カ所実施し今年は全都道府県を網羅して110カ所での実施を予定しています。また大学の教員養成課程の学生も教員向け研修会に参加できるようにするなど、活動を広げてきました。

- ー 活動の広がりの一つが「踊育プロジェクト」ですね。

吉田 NNSAのアンケート調査（表1）の結果でわか

りますが、多くの先生、特に男性の先生がリズムダンス授業の実施に不安を持ち、また「どんな音楽が良いかわからない」「振付がわからない」「指導力、見本を示せない」という部分で困難を感じています。これらの不安を払拭したいー踊育プロジェクトはこのニーズを踏まえてスタートしました。

ユニバーサルミュージックの協力で学校事業で使える音源をCD化して無償提供し、またユニバーサル、パナソニックの協力のもと振付を映像化して無料配信するサービスを教員研修事業、インストラクター派遣事業と組み合わせてプロジェクト化し、文部科学省の後援を受けて推進しています。取り組みの背景には、地方と都市部での受けられる教育機会のギャップを埋めたいという思いもありました。

表1 ダンス授業実施についてのアンケート結果

対象：NNSA主催「表現運動・現代的なリズムのダンス研修会」参加者
調査期間：平成24年4月～11月

Q リズムダンスの授業の実施に不安がある

A 男性教員 ある 90% / ない 3%
女性教員 ある 58% / ない 38%

Q リズムダンスの授業を実施するにあたり困っていることは何か（複数回答可）

A どんな音楽が良いかわからない 62%
振付がわからない 78%
教員自身の指導力、見本が示せない 83%

岩崎 ダンスと切り離せない音楽を担う立場として、吉田さんから声をかけていただき、二つ返事でプロジェクトに参加しました。ダンス教育の黎明期にあたり、非常に意義深く、魅力を感じたのです。一つはビジネス、市場の魅力です。学校教育向けのダンス事業に成長のポテンシャルを感じました。第二に、ダンス音楽そのもののプロモーションになる点も魅力的でした。幅広い世代の人たちに、ダンス音楽を知ってもらえます。そして三番目が社会貢献の視点です。学校教育という公的な場でお役に立ちたいと考えました。この三つを目標にしました。

工夫を重ねた教材CD制作、再生数を伸ばす振付映像

芳賀 授業や、教員向けの研修に使う教材CDの制作には、いろいろと工夫、苦心がありました。ヒップホップの歌詞には、教育には不適切なものもあります。楽曲の選択では、吉田理事やNSSAのインストラクターの方々と協議しながら、ジャクソン5のような明るくて、子どもたちにも耳なじみのいいものを中心に選んでいます。初年度（2012年）は、子どもたちも喜びそうな旬なヒット曲を選曲したのですが、子どもたちにはテンポが速すぎて踊りにくかった、という反省点もありました。そこで今年はNSSAの皆さんからのフィードバックを受けて、踊りやすいものを追求し、ヒップホップ用、ロック用、幼児向けと細かく分け、ダンスの練習に必要なリズム音もカバーし、進化を図りました。



無償提供される“踊育”教材CD（2013年版）

岩崎 映像では年間に8～10コマの授業で習う動きをカバーしました。模範的な振付のバリエーションをパナソニックと共同で映像化し、YouTubeなどのインターネット配信に加えアクトビラで配信しています。いずれも視聴無料で、アクトビラでは3D映像も配信しています。すでに10万ビュー以上の再生を達成し、視聴はさらに伸びています。



年代別リズムダンスの模範映像
レベルに合わせて段階別の映像を選択、場所を選ばず何度でも視聴可能
(インターネット視聴画面URL)
<http://nssa.or.jp/instructor/movie>
<http://www.youtube.com/user/DEPumllc>

芳賀 映像も幼児向けから高校までを5つの年代に分けて提供し、復習のしやすさに配慮しています。

吉田 たとえば人気アイドルの振付では動きが速すぎて、学校のダンス授業で取り入れるには難しすぎます。また学校教育で求められるのは子どもたち同士のコミュニケーション、創造性、表現力ですから、歌手やタレントの完全コピーとは違ったダンスの構成となります。ベースになる動きを組み合わせる創意工夫し、作品まで仕上げるのが大事です。そういう観点からも、教材には基本の動きを、バリエーションを組み合わせられるようなものとして提供するよう努めています。





学校教育では、評価できる部分を入れなければいけません。踊育プロジェクトでは、大学との共同研究で、模範ダンサーの動きをモーションキャプチャーで記録し、評価ポイントの作成に役立てるなど、ダンスの標準化の作業も行っています。

一方で「ダンス検定」として、A、B、Cの3ランクで学校指導員を認定する制度の導入準備を進めています。教育の視点からマナーに配慮し、ダンスの苦手な子、つまづいてしまった子にも教えられるスキルを身につけてもらうというものです。現在は年間500校程へのダンスインストラクターの派遣ですが、これにより、学校におけるインストラクター派遣体制を整え、今後はさらに一般に広げる考えです。

子どもたちの笑顔が手ごたえ

ー 踊育プロジェクトの活動を通じて、成果をどう実感していますか。

吉田 当初あったヒップホップ=危ないものというイメージは薄れてきたと思います。PTA主催で、親子と一緒にダンスを踊るプログラムを実施できるまでに皆さんの意識が変わってきました。授業では子どもたちが大喜びで踊ります。躍動する姿を見て、教育委員会の方が感動して涙を流されたこともありました。

岩崎 私たちも一緒に研修や学校授業に立ち会います。低学年だとすごく楽しそうにノリノリで、笑顔いっぱいに踊ってくれる。プロジェクトに携わってよかったなと思います。

芳賀 素直な反応が嬉しいですね。

ー 今後はどのように活動を広げていきますか。

吉田 教員研修だけで全国をカバーするのは難しい面があります。そこで、インターネットを利用した映

像授業なども企画・実験しています。また、文部科学省ではダンスを生涯教育、生涯スポーツの一つに位置づけていますから、たとえば生活習慣病予防のための中高年向けのダンスプログラムづくりなどにも取り組んでいます。

岩崎 プロのインストラクターを派遣してほしいというニーズも年々高まっていることを受けて、当社も協力してDance Education Project (DEP) を立ち上げました。普通には入りにくい学校市場でのブランディングやサンプリングのメリットをつけて協賛スポンサーを集め、資金をインストラクター派遣に活用するスキームです。出張授業で経験豊富な大日本印刷株式会社の参画も得ました。来年以降、本格展開する予定です。またレコード会社として子どもたちに夢を持ってもらえるよう、アーティストの出張授業も視野に入れています。

吉田 今年から朝日新聞主催の全日本小中学生ダンスコンクールも始まりました。ダンスの上手さを競うのではなく、普通の子もたちが、コミュニケーションを取って、協力して創意工夫する姿勢が評価されるものです。

予想を上回るエントリーがあり、盛り上がりを感じるとともに、今後へ向けた環境整備のため、思いを新たにしました

岩崎 ダンスを切り口に、音楽への親しみを広げる活動展開も、より強化していきたいですね。

(文中敬称略)



出張事業に参加した子どもたちから多くのお礼の手紙が届く

特 報

Special Report

2013 年度 CD レンタル店実態調査

当協会では、全国の CD レンタル店の実態調査を当協会調査員による訪店調査にて毎年実施しており、同調査は今年で 30 回目となる。2007 年度より、全店調査から店舗規模・業態を勘案したサンプル調査方式に移行し、今年は全国 844 店（全店 2,704 店：2013 年 6 月末現在）の訪店調査を行った。

CD レンタル店の店舗数と店舗面積

CD レンタルの店舗数は、1989 年末の 6,213 店をピークに減少傾向にあり、今年も前年比 2.4% 減の 2,704 店となった。（図-1）

また、店舗面積は、昨年比 2.0% 増の 812 平方メートルとなった。内訳は、CD レンタルが 76 平方メートル、DVD レンタルが 316 平方メートル、その他が 420 平方メートルである。（図-2）

レンタル用 CD の在庫状況

レンタル用 CD の在庫状況は、シングル、アルバム共引き続き増加傾向にある。シングルの 1 店舗当たりの平均在庫数は、1,085 枚と前年比 6.0% の増加、アルバムの平均在庫数は、15,939 枚と前年比 7.2% の増加となり、この結果、総在庫数は、前年比 7.1% 増の 17,024 枚となっている。（図-3（a））

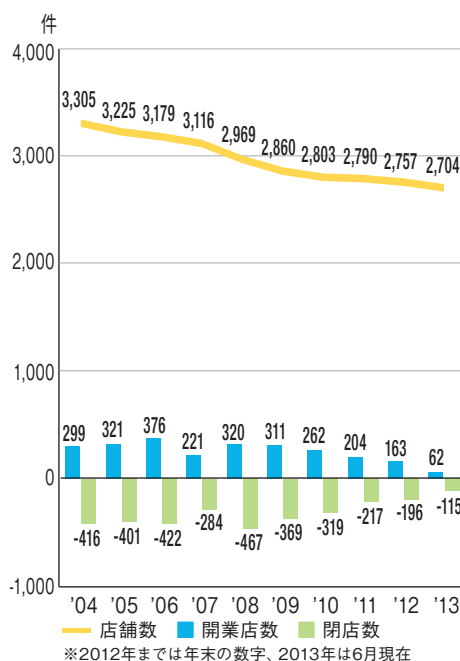
また、調査店の合計を営業店数に換算して算出した総在庫数では、シングルで前年比 3.4% 増の 2,933,462 枚、アルバムで前年比 4.6% 増の 43,099,053 枚、シングル・アルバムの合計では、46,032,515 枚と前年比 4.5% 増となった。この結果、在庫数のシングル・アルバム比率は、6:94 となっている。（図-3(b)）

なお、CD の在庫規模による店舗数分布をみると、在庫数 4,000 枚未満の小型店は前年と同様の 1.5%、在庫数 15,000 枚以上の大規模在庫店は前年比 3.0% 増の 51.6% となり、より一層大型店の比率が高まっている。（図-3(c)）

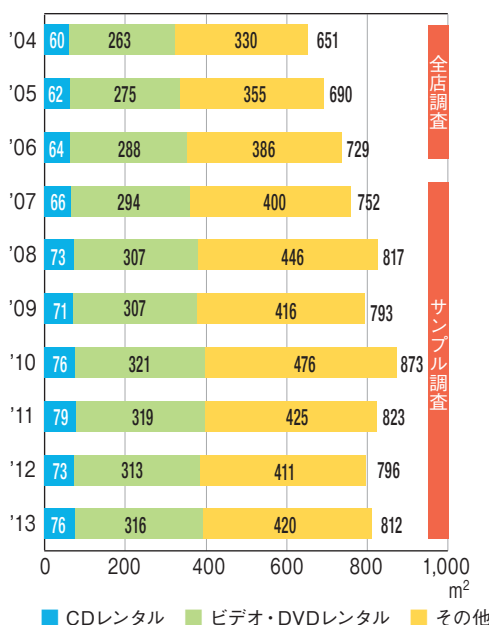
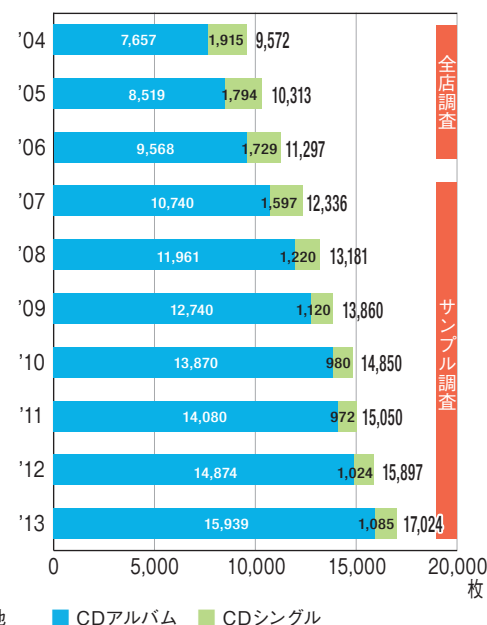
レンタル用ビデオの在庫状況

レンタル用ビデオの在庫数については、ビデオテープから DVD への移行はほぼ完了し、ビデオテープの在庫率は更に減少し 10% を割り込み、前年比 6.7% 減の 7.2%、平均在庫数で前年比 47.7% 減の 405 枚となった。

■ 図-1: CD レンタル店数と開業・閉店の推移



■ 図-2: 店舗面積 (1店舗平均)

■ 図-3: CD 在庫状況
(a) 1店舗平均在庫数

一方、DVDは、引き続き在庫数が増加し、前年比10.8%増の47,042枚となった。また、ブルーレイについては、在庫率は99.3%となったが、在庫数は、前年比21.8%増の1,166枚に留まっている。(図-4)

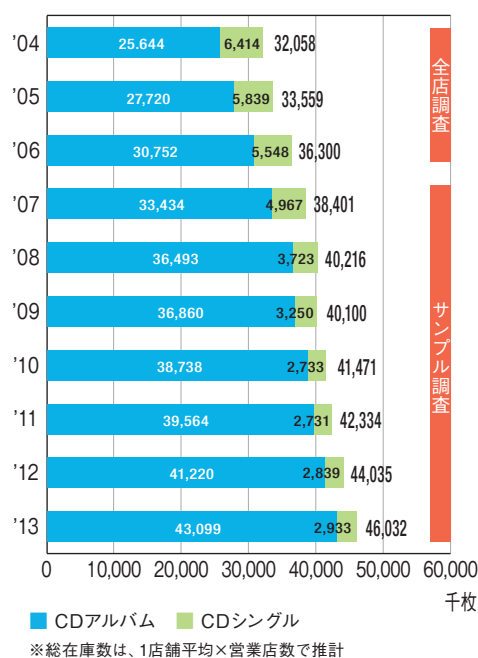
その他

レンタル店のその他の傾向としては、より一層の店舗展開の多角化の進行が挙げられる。従来からのCD、DVDのレンタル・セルに加え、書籍レンタル、テレビゲームの販売、その他雑貨販売などである。この様なレンタル店の多角化への取り組みは、今後一層進んでいくだろう。

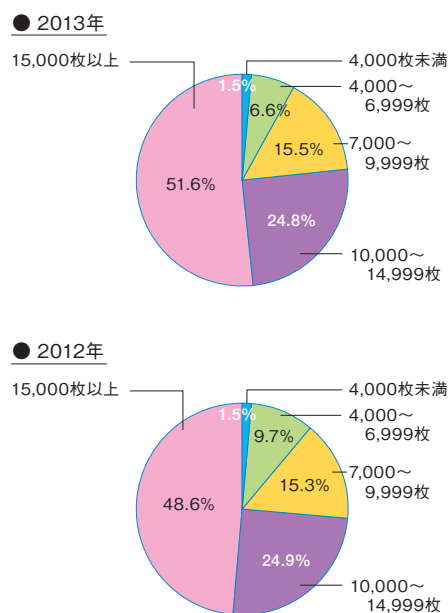
調査概要

- 調査期間：2013年4～6月
- 調査方法：対象店舗への訪店調査
- 調査店数：844店
- 調査：日本レコード協会企画部調査室
- 留意事項：サンプル調査のため、在庫総数は調査結果を基に全店規模を推計した

(b) 総在庫数



(c) CD在庫規模別の店舗数分布状況



■ 図-4：ビデオ在庫状況

	2013年		2012年		平均在庫数前年比
	在庫率(%)	平均在庫数(枚)	在庫率(%)	平均在庫数(枚)	
ビデオテープ	7	405	14	849	48%
DVD	100	47,042	100	42,464	111%
ブルーレイ	99	1,166	99	957	122%

※平均在庫数は在庫店の平均

特 報

Special Report

今年度レコード寄贈事業実施

陸前高田市立図書館へのレコード寄贈 贈呈式実施

当協会は、福祉厚生・療養施設（児童福祉施設、老人ホーム等）などの方々に音楽を楽しんでいただくことを目的とした「レコード寄贈事業」を今年度も実施した。

同事業は 1963 年より継続して実施され、これまでに延べ 2 万以上の全国の福祉施設などに累計で 100 万枚を超える音楽 CD などを寄贈してきた。51 年目となる今年度は、8 月に児童福祉施設 200 力所、被災地復興支援として東日本大震災被災地の臨時災害 FM 局（12 力所）、福島・岩手・宮城の社会福祉協議会（仮設住宅の集会所などへの寄贈）、同 3 県の老人クラブ連合会（132 力所）を対象に、合計約 8,500 枚の音楽 CD の寄贈を行った。

また、8 月 20 日には、岩手県陸前高田市立図書館において「レコード寄贈贈呈式」を実施した。

同図書館は、東日本大震災の津波により建物が全壊し、8 万冊の蔵書とともに所蔵する全音楽 CD を流失するという壊滅的被害に見舞われたが、全国の皆さんの支援のもと昨年假設図書館の開館に至った。この度、利用者の方々の「音楽 CD を常備してほしい」との声により、当協会によるレコード寄贈が実現したものである。

贈呈式は同館内において行われ、当協会高杉健二常務理事が陸前高田市立図書館菅野祥一郎館長に音楽 CD500 枚の目録を贈呈し、引き続き菅野館長より謝意が述べられ終了した。



陸前高田市立図書館

文京区社会福祉協議会へのレコード寄贈 贈呈式実施

8 月 23 日には、特定非営利活動法人ラブ＆ハーモニー基金の協力のもと、東京都文京区の文京シビックホール（小ホール）においてレコード寄贈贈呈式を実施、社会福祉法人文京区社会福祉協議会に音楽 CD150 枚を寄贈した。

当日は同基金主催による、平尾昌晃さん、じゅん＆ネネさん、葵と楓さん、田川裕之さん出演の福祉事業コンサート「歌で繋ごう未来へ ～笑顔で文京から～ うた先案内人：平尾昌晃とともにみんなで歌おう」が催され、同イベントの中で贈呈式を執り行った。

イベント出演者を代表して平尾昌晃さんより、同基金オリジナルタオルの寄贈に引き続き、CD150 枚の目録が社会福祉法人文京区社会福祉協議会江口進常務理事に手渡された。その後、江口常務理事より同基金へ感謝状の贈呈が行われるとともに、同基金ならびに当協会への丁寧な謝辞が述べられ、贈呈式は終了となった。

同イベントには、文京区内の社会福祉施設利用者ならびにご家族、施設関係者など約 350 名が招待された。ステージ端で出演者の会話や歌を表情豊かに終始伝え続けた手話通訳者の姿もあり、観客の方々が笑顔で出演者の歌を聴き入る姿や一緒に口ずさむ姿などが多数見られた。イベント後半に出演者の皆さんが「観客の皆さんもどうぞステージに上がって一緒に踊りましょう!」と声をかけると、一斉に集まった観客でステージが一杯になるなど、大盛況のうちに幕を閉じた。



当協会は、このレコード寄贈事業により多くの方々が更に音楽を楽しんでいただける機会が増えていくことを願い、今後も事業を継続してゆく。

平成25年度一般社団法人日本レコード協会寄附講座 「コンテンツビジネスと法」横浜国立大学にて開講

当協会は、10月1日より平成25年度一般社団法人日本レコード協会寄附講座「コンテンツビジネスと法」を横浜国立大学において開講する。

同寄附講座は、次代を担う学生のコンテンツビジネスに対する関心を深め、知的財産・著作権制度の重要性を理解してもらうことを目的とするもので、1992年よりあわせて5大学に講座の寄附を実施している。

今年度寄附講座も昨年度同様、横浜国立大学経済学部 (<http://www.econ.ynu.ac.jp/>) に設置し、「コンテンツビジネスと法」をテーマに、3、4年生を対象として半期で展開する。音楽をはじめとするコンテンツ産業の概要および相互の関係などの具体的なビジネス内容と、それを支える法制度（著作権）などについて実例を踏まえながら、講義形式で授業を進行していく。担当教員は、同大学大学院国際社会科学研究院 川瀬真教授。

講義予定は以下のとおり。

平成25年度 横浜国立大学「コンテンツビジネスと法」講義シラバス（予定）

秋学期・火曜4限（14:40～16:10）実施

回	月日	講義タイトル	講師（敬称略）
1	10月1日	オリエンテーション	横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 教授 川瀬真
2	10月8日	著作権制度の概要	同上
3	10月22日	コンテンツをめぐる紛争	弁護士 前田哲男
4	10月29日	音楽ビジネス	一般社団法人日本レコード協会 会長 斉藤正明
5	11月12日	レコード会社のビジネス	(株) ソニー・ミュージックエンタテインメント コーポレート・エグゼクティブ 経営企画グループ担当 妹尾智
6	11月19日	ヒットソングができるまで	ユニバーサルミュージック合同会社 EMI Records Japan マネージングディレクター 執行役員 子安次郎
7	11月26日	音楽配信ビジネス	(株) レコチョク 代表執行役社長 加藤裕一
8	12月3日	音楽出版ビジネス	一般社団法人日本音楽出版社協会 会長 谷口元
9	12月10日	ライブ・コンサートビジネス	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 会長 中西健夫
10	12月17日	出版ビジネス	(株) 講談社 取締役（ライツビジネス担当）入江祥雄
11	1月7日	映画ビジネス	東宝 (株) 映像本部映画調整部契約管理室 室長 小野田光
12	1月14日	放送ビジネス	立教大学社会学部メディア社会学科 准教授 砂川浩慶
13	1月21日	電子書籍ビジネス	(株) ブックリスタ 代表取締役社長 今野敏博
14	1月28日	アニメと音楽のコラボレーション	(株) ランティス 代表取締役社長 井上俊次
15	2月4日	日本のコンテンツビジネス戦略	経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課 課長 佐合達矢

日本レコード協会寄附講座

当協会は、創立50周年事業の一環として、1992年、青山学院と早稲田大学に寄附講座を開設した。これまでの実施内容は以下のとおり。

- 青山学院大学 1992年～2002年「レコードと法」他 担当教員：半田正夫教授
- 早稲田大学 1992年～1994年「著作権法と技術メディアの発展」他 担当教員：土井輝生教授
2004年～2007年「コンテンツビジネスと著作権」 担当教員：鎌田薫教授、高林龍教授
- 慶応義塾大学 2007年～2009年「クリエイティブ産業研究 I・II」 担当教員：美山良夫教授
- 立教大学 2008年～2010年「音楽ビジネスと法」 担当教員：砂川浩慶准教授
- 横浜国立大学 2011年～「コンテンツビジネスと法」 担当教員：川瀬真教授

特 報

Special Report

「オーディオ・ホームシアター展 2013」開催 HiRAC が NDL「歴史的音源」専用サイト（れきおん） の紹介ブースを出展

10月18日から20日にかけて、一般社団法人日本オーディオ協会（JAS）主催、当協会後援による「オーディオ・ホームシアター展 2013」が開催される。

当協会は、歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）*1 との共同名義にて「古（いにしえ）の音を聴いてみよう」と題した、国立国会図書館（NDL）のデジタル化資料である歴史的音源 *2 専用ページ「れきおん」サイト（<http://rekion.dl.ndl.go.jp/>）の紹介ブースを出展する。同サイトにて公開中の SP 盤をデジタル化した全 1,090 音源のストリーミング試聴が行えるほか、同サイト掲載の NDL が保有する歴史的音源約 4 万 8,700 音源のメタデータ紹介ならびに SP 盤解説などの展示が行われる。



「オーディオ・ホームシアター展 2013」開催概要

会期：2013 年 10 月 18 日（金）～ 10 月 20 日（日）

時間：10:00～19:00（最終日のみ～17:00）

会場：「TIME（タイム）24」TOKYO INFORMART
EXPRESS24

主催：一般社団法人日本オーディオ協会

企画：「オーディオ・ホームシアター展」実行委員会

公式サイト <http://www.oto10.jp/>



*1 歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）構成団体
日本放送協会／一般社団法人日本音楽著作権協会／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会／公益財団法人日本伝統文化振興財団／一般社団法人日本レコード協会（順不同）

*2 歴史的音源とは

歴史的音源とは、1900 年初頭～1950 年頃に国内で製造された SP 盤および金属原盤などに収録された音楽・演説などの音源を指す。HiRAC では、散逸や劣化が進んでいた SP 盤の音源をデジタル化するとともにメタデータの整備を行い、4 万 8,732 音源を NDL に納品。NDL では、当該資料を館内で提供するとともに、著作権・著作隣接権保護期間を満了したものについて NDL デジタル化資料として「れきおん」サイトなど、インターネットにて公開。音源には、落語、長唄、管弦楽、歌劇、清元、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズなど多様な内容が含まれる。

インターンシップ実習生受け入れ

8 月 19 日～30 日の期間、当協会はインターンシップ実習生の受け入れを行った。今回で 5 回目となるインターンシップ受け入れは、レコード産業および当協会への理解促進を目的として立教大学の依頼を受けて実施されたものである。2 週間の実習を終えた立教大学社会学部メディア社会学科 3 年の松場卓也さんよりコメントをいただいた。

『誰にも見えないような所にこだわるからこそ、本当にいいモノが作れる。神は細部にこそ宿るのです。』高校生の時に校長先生から言われたことを日本レコード協会さんで二週間お世話になり、ふと思い出しました。音楽は娯楽の一つという意識があったのですが、レコード協会さんでお仕事を体験させて頂くうちに考え方が大きく変わりました。音楽は非常に芸術性が高く、守られるべき財産であるということです。1 枚の CD には数えきれないほどのこだわりが詰まっています。アーティストだけではなく、それを支える全ての人が細部に目を凝らして良い作品を創る努力をしているのです。レコード協会さんはその沢山のこだわりを『守る』役割を担っていて、音楽業界を円滑にするためには欠かすことの出来ない存在であると思います。表舞台からは見えづらい仕事を一所懸命するレコード協会の皆さんはとても輝いていました。どうしても華やかな業界に目が行きがちな自分にとって、大きく視野が広がった二週間であったことは間違いありません。大好きな音楽を真正面から仕事にするのではなく、一歩も二歩も引いた場所から『音楽を守る』という立場で仕事をする選択もあるということを皆さんに教えて頂いた気がします。縁の下の力持ちは大切な役割だとよく言われますが、もっと大切なのは『縁の下の力持ちの下での力持ち』であると感じました。これから社会に出ていく自分にとってここで学ばせて頂いたことは、必ずどこかで生きてくると思います。短い間でしたが、有意義な時間を本当にありがとうございました。

ヒット曲で 振り返る 昭和 Vol. 13

歌は世につれ世は歌につれ—。

音楽評論家・反畑誠一氏の執筆のもと、

時代を彩ったヒット曲から、激動の「昭和」を追想する。

昭和60年(1985)

S60「熱き心に／(唄)小林旭」

(作詞) 阿久悠 (作・編曲) 太瀧詠一

この歌は、S60年の秋からコーヒーのテレビCMで放送され評判になっていた。CMイメージソング全盛期で、ニューミュージックが台頭し、アイドル歌手の歌や演歌も採用された。作詞を委嘱された阿久悠さんは「CMソングとして書いた。もちろん最初から、小林旭が歌うということも決まっていた」と著書「愛すべき名歌たち—私的謡史—」(岩波新書)で明かしている。CMを制作した杉山恒太郎さん(現・広告制作会社ライトパブリシティ代表取締役)は、「音楽と広告」という対談の中で、「世の中に『伝わった』という歌でした」とヒット現象を振り返る。阿久さんは作曲した大瀧詠一とは初仕事だった。打ち合わせを兼ねた2人は、「あまり、しゃべらなかった。クレージー・キャッツの歌に興味があるとか、小林旭の初期のアンパンマン風のものが好きだとか、ちょっと不思議な人だなと思った」と初対面の様子を語っている。

2人は11歳違い。大瀧にも日本の歌謡史に残るヒット曲が沢山ある。「夢で逢えたら」(吉田美奈子ほか)、「風立ちぬ」(松田聖子)、「冬のソナタ」(森進一)、「探偵物語」(薬師丸ひろ子)などが主な提供作品だろう。この中で、自ら作詞まで手掛けた「夢…」を除く3曲は、ロックバンドはついでに松本隆が作詞を担当していた。大瀧によると、歌手小林旭には松本隆の都会的な歌詞は

似合わないとして、阿久悠に依頼したと聞く。当の阿久さん、音頭が大好きな大瀧から「ズンドコ節」とか「ダンチョネ節」といった曲ができてきたらどうしようかと、ひそかに恐れていたが、「届けられた作品は朗々と美しく、満足した」とメロディー先行だったこともわかった。

時代背景について、「ケタはずれのスケールとか、とんでもなく大きな男とかは登場させられなくなっていた。仮にそういう歌を作ったとしても、歌って似合う個性の持ち主が少なくなっていた。しかし小林旭が歌うとなると話は全く別で、ぼくは、可能な限り美文調をメロディーにあてはめ、日本離れのした風景と、現実離れのした浪漫を書いた」(小林旭なら、オーロラの壁の中につき進み、地球を一巡りして南から『やあ』と帰って来ても不思議な感じはしない。銀幕のスターの大きさとおおらかさであろう)と阿久さんは述懐している。CM先行で発進したこの歌は11月20日にレコード発売され、翌S61年の年末まで売れ続け、日本レコード大賞の有力楽曲であったが中森明菜「DESIRE」に及ばなかった。私はポリドールレコードのスタッフ共々、大スター小林旭家で元旦を迎えた。清々しい笑顔で「おめでとう」を交わした思い出がある。

ジャケット写真協力：一般財団法人古賀政男音楽文化振興財団
ユニバーサルミュージック合同会社



S60「セーラー服を脱がさないで／(唄)おニャン子クラブ」

(作詞) 秋元康 (作・編曲) 佐藤準

流行歌の魔術師、秋元康が作詞家として大躍進するきっかけになった曲である。S60年4月1日から2年5カ月間にわたってフジテレビ系列で放送されたバラエティ番組「タヤケニャンニャン」(平日17:00～18:00)から誕生した女性アイドルグループ、おニャン子クラブのデビュー曲だ。7月5日にシングル発売され、この年を代表するヒット曲になった。メンバーは女子高生を中心に集めてグループとして結成。コンセプトは「どこにでもいそう」「ちょっと気になる可愛い同級生」の放課後や部活動の延長であった。メンバーの選出方法は番組と同時に進行のオーディションから。メインボーカルで参加したのは、新田恵利(4番)、中島美春(5番)、福永恵規(11番)、内海和子(13番)であった。番号制が話題の一つだった。

秋元康夫人になった高井麻巳子は16番、木村拓哉と結婚した工藤静香は38番、我妻佳代が48番で最終。後続はB組や研修生扱いになった。メンバーの中には国生さゆり(8番)、渡辺美奈代(29番)のように大手芸能プロに所属し、解散後も歌手活動を続けている者もいる。話題曲の作・編曲は、今井美樹「PIECE OF MY WISH」、イルカ「海岸通り」などを手掛けた佐藤準。参加ミュージシャンは、青山純(ドラムス)、岡沢茂(ベース)、松原正樹(ギター)、佐藤はキーボードを担当した。

このような経緯を辿ってみると、同じ秋元プロデュースでも平成の「AKB48」との違いがわかるであろう。おニャン子クラブは、S62年6月15日放送の「タヤケニャンニャン」で解散を発表し(番組は8月31日で終了)、9月20日、東京代々木体育館でのコンサートで活動を終えた。奇しくも人気音楽番組「夜のヒットスタジオ」(フジテレビ系)がS60年3月で番組を終了し、「ザ・ベストテン」(TBS系)もH元年9月に、全603回の生放送に終止符を打った。

それにつけても「セーラー服を脱がさないで」のCD発売時の伝説は鮮明に記憶に残っている。前日、池袋サンシャインシティ・アルパ噴水広場で、この曲の発表会と握手会を予定していたが、4,000人ものファンが押し掛けたため中止せざるを得なくなった。おニャン子のメンバーが恐れをなしたことで現場の混乱が心配されたためだ。おニャン子人気を象徴する出来事として語り継がれている。光GENJIにも同様の記憶がある。故人となった真塩昇嗣さん(ポニーキャニオン)の神戸三宮からの電話だった。「大変なことになっています。ファンが湧くように押しかけ、商店街が身動きできない状況です。もの凄いい人です」。いずれもS60年代のアイドルブームの一端である。

ジャケット写真協力：株式会社ポニーキャニオン



当時の出来事

S60：(エンタメ業界)

- ・著作権法一部改正法施行・貸与権創設
- ・CD生産累計1000万枚突破
- ・レンタル商組との貸し問題合意成立
- ・ソニー、カメラ一体型8ミリビデオ発売
- ・第1回東京国際映画祭開催
- ・松田聖子・神田正輝結婚
- ・NHK文字多重放送開始
- ・任天堂「スーパーマリオ」大人気、ファミコンブーム
- ・飢餓救済コンサート「ライブ・エイド」英米で開催

- ・黒澤明監督「乱」公開
- ・「バック・トゥ・ザ・フューチャー」公開
- ・「アイコッカ」ベストセラーに
- ・マンガ「美味しんぼ」ヒット、飽食の時代
- ・FM横浜開局
- ・TV番組「タヤケニャンニャン」おニャン子、とんねるずとともに人気

(その他一般)

- ・青函海底トンネル貫通
- ・男女雇用機会均等法成立

- ・日航ジャンボ機事故
- ・日本電信電話公社、日本専売公社が民営化
- ・NTTフリーダイヤルサービス開始
- ・横綱北の湖、引退
- ・科学万博—つくば'85開幕
- ・桜島大噴火
- ・国鉄がオレンジカードを発売開始
- ・エポック社「シルバニアファミリー」発売
- ・「新人類」カエルコールなどが流行語に



反畑誠一(音楽評論家)
立命館大学産業社会学部
客員教授(「ポピュラー音楽概論」)、日本音楽著作権協会理事、日本レコード大賞常任実行委員

Monthly Production Report

2013年8月度レコード生産実績

8月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比 73%の 2,083 万枚・巻、金額で同 77%の 209 億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比 73%の 1,622 万枚・巻、金額で同 83%の 164 億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比 72%の 461 万枚・巻、金額で同 60%の 45 億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			8 月実績						2013 年 1 月～2013 年 8 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
シ	8cmCD	邦	17	0	713%	4	0	231%	37	0	95%	18	0	57%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	162%	0	0	118%
		計	17	0	713%	4	0	231%	37	0	95%	18	0	58%
ン	12cmCD	邦	6,095	38	100%	4,496	27	110%	40,919	33	98%	28,641	22	98%
		洋	39	0	53%	30	0	29%	546	0	55%	413	0	54%
		計	6,134	38	99%	4,525	28	108%	41,465	33	97%	29,054	22	97%
グ	小計	邦	6,112	38	100%	4,500	27	110%	40,957	33	98%	28,658	22	98%
		洋	39	0	53%	30	0	29%	546	0	55%	413	0	54%
		計	6,151	38	99%	4,529	28	108%	41,503	33	97%	29,072	22	97%
ル	12cmCD アルバム	邦	7,541	46	58%	9,347	57	72%	63,853	51	93%	81,532	63	94%
		洋	2,388	15	90%	2,342	14	106%	18,966	15	86%	17,531	14	88%
		計	9,929	61	63%	11,688	71	77%	82,819	66	91%	99,063	76	93%
	CD 合計	邦	13,653	84	71%	13,846	85	81%	104,810	83	95%	110,190	85	95%
		洋	2,426	15	89%	2,371	14	103%	19,512	16	85%	17,944	14	87%
		計	16,080	99	74%	16,218	99	83%	124,322	99	93%	128,134	99	94%
	アナログ ディスク	邦	28	0	38%	51	0	64%	81	0	58%	127	0	122%
		洋	7	0	64%	7	0	41%	78	0	128%	123	0	144%
		計	35	0	41%	58	0	60%	158	0	80%	250	0	132%
	カセット テープ	邦	79	0	56%	63	0	69%	955	1	76%	754	1	77%
		洋	0	0	-	0	0	-	1	0	20%	1	0	108%
		計	79	0	56%	63	0	69%	955	1	76%	755	1	77%
	その他	邦	18	0	262%	16	0	191%	109	0	89%	143	0	102%
		洋	10	0	52%	19	0	50%	142	0	51%	282	0	57%
		計	29	0	107%	35	0	77%	252	0	62%	425	0	67%
合 計		邦	13,779	85	71%	13,977	85	81%	105,955	84	94%	111,214	86	95%
		洋	2,444	15	88%	2,397	15	101%	19,732	16	85%	18,350	14	86%
		計	16,223	100	73%	16,374	100	83%	125,687	100	93%	129,564	100	93%

● 音楽ビデオ

		8 月実績						2013 年 1 月～2013 年 8 月累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD	邦	3,954	86	66%	3,249	72	48%	32,100	88	85%	33,657	75	83%
	洋	189	4	83%	235	5	112%	1,538	4	56%	1,650	4	57%
	計	4,144	90	67%	3,484	77	50%	33,638	92	83%	35,307	79	81%
Blu-ray Disc	邦	454	10	246%	981	22	172%	2,816	8	191%	8,817	20	171%
	洋	13	0	177%	43	1	213%	163	0	81%	486	1	91%
	計	467	10	243%	1,024	23	173%	2,979	8	178%	9,303	21	164%
テープ・その他		0	0	114%	1	0	103%	2	0	30%	5	0	38%
合 計	邦	4,409	96	72%	4,231	94	58%	34,919	95	89%	42,479	95	93%
	洋	203	4	86%	278	6	121%	1,701	5	57%	2,137	5	62%
	計	4,611	100	72%	4,509	100	60%	36,620	100	87%	44,616	100	91%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			8 月実績						2013 年 1 月～2013 年 8 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ			16,223	78	73%	16,374	78	83%	125,687	77	93%	129,564	74	93%
音楽ビデオ			4,611	22	72%	4,509	22	60%	36,620	23	87%	44,616	26	91%
合 計		邦	18,188	87	71%	18,208	87	74%	140,873	87	93%	153,692	88	94%
		洋	2,646	13	88%	2,675	13	103%	21,434	13	82%	20,487	12	83%
		計	20,834	100	73%	20,883	100	77%	162,307	100	91%	174,179	100	93%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			8 月実績						2013 年 1 月～2013 年 8 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD			6,994	82	77%	8,642	65	65%	58,948	80	88%	82,707	66	85%
テープ・その他			1,509	18	126%	4,664	35	149%	14,453	20	147%	42,834	34	152%
合 計			8,503	100	82%	13,307	100	81%	73,400	100	96%	125,541	100	100%

● オーディオ/ビデオ合計

			8 月実績						2013 年 1 月～2013 年 8 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ			16,223	66	73%	16,374	55	83%	125,687	63	93%	129,564	51	93%
ビ デ オ			8,503	34	82%	13,307	45	81%	73,400	37	96%	125,541	49	100%
合 計			24,726	100	76%	29,681	100	82%	199,087	100	94%	255,105	100	97%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計

音楽ソフト

邦 楽

アルバム

● ダブル・プラチナ

ファンキーモンキーベイビーズ LAST BEST	FUNKY MONKEY BABYS	2013.03.27	DRM
--------------------------	--------------------	------------	-----

● プラチナ

予襲復讐	マキシマム ザ ホルモン	2013.07.31	VAP
------	--------------	------------	-----

● ゴールド

あまちゃん 歌のアルバム	Various Artists	2013.08.28	V
KYOSUKE HIMURO 25th Anniversary BEST ALBUM GREATEST ANTHOLOGY	氷室 京介	2013.08.21	WJ

シングル

● ミリオン

恋するフォーチュンクッキー	AKB48	2013.08.21	K
---------------	-------	------------	---

● ダブル・プラチナ

ガールズルール	乃木坂46	2013.07.03	SR
---------	-------	------------	----

● プラチナ

キミとのキセキ	Kis-My-Ft2	2013.08.14	AMI
ピースとハイライト	サザンオールスターズ	2013.08.07	V
自由への進撃	Linked Horizon	2013.07.10	PC

● ゴールド

HEY WHAT'S UP ?	赤西 仁	2013.08.07	WJ
笑顔	いきものがかり	2013.07.10	ES
Fight For Liberty / Wizard CLUB	UVERworld	2013.08.14	SR
Boys Meet U	SHINee	2013.08.21	UM
WINNER	超新星	2013.08.07	UM
南部蝉しぐれ	福田 こうへい	2012.10.24	K
Vitalization	水樹 奈々	2013.07.31	K
わがまま 気のまま 愛のジョーク / 愛の軍団	モーニング娘。	2013.08.28	EP
oath sign	LiSA	2011.11.23	SV

ビデオ

● ゴールド

BIGBANG ALIVE TOUR 2012 IN JAPAN SPECIAL FINAL IN DOME -TOKYO DOME 2012.12.05-	BIGBANG	2013.03.27	AMI
---	---------	------------	-----

洋 楽

アルバム

● ゴールド

アイシテル	シェネル	2013.08.07	UM
-------	------	------------	----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ **AMI:** エイベックス・マーケティング / **BV:** アリオラジャパン / **DRM:** ドリーミュージック・ / **EP:** アップフロントワークス(ゼティマレーベル) / **ES:** EPIC レコードジャパン / **K:** キングレコード / **PC:** ポニーキャニオン / **SE:** エスエムイーレコーズ / **SR:** ソニー・ミュージックレコーズ / **SV:** アニプレックス / **UM:** ユニバーサルミュージック / **V:** ビクターエンタテインメント / **VAP:** バップ / **WJ:** ワーナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信

※「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

「着うたフル®」

邦 楽

● ダブル・プラチナ

刹那	GReeeeN	2009.03.16	UM
----	---------	------------	----

● ゴールド

にんじゃりばんばん	きゃりーぱみゅぱみゅ	2013.03.13	WJ
-----------	------------	------------	----

「PC 配信 (シングル)」

邦 楽

● トリプル・プラチナ

Love Story	安室 奈美恵	2011.12.07	AMI
------------	--------	------------	-----

● プラチナ

つけまつける	きゃりーぱみゅぱみゅ	2011.12.07	WJ
--------	------------	------------	----

● ゴールド

Contrail	安室 奈美恵	2013.05.19	AMI
let go	m-flo loves YOSHIKA	2004.11.17	AMI
インベーダーインベーダー	きゃりーぱみゅぱみゅ	2013.05.08	WJ
ゴールデンタイムラバー	スキマスイッチ	2009.10.14	BV
Preserved Roses	T.M.Revolution × 水樹 奈々	2013.05.15	ES
Believe	西野 カナ	2013.06.05	SE
ルーズリーフ	ヒルクライム	2010.06.02	UM
ミラクル	miwa	2013.04.24	SR
紅蓮の弓矢	Linked Horizon	2013.07.10	PC

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

いよいよ、10月22日から24日にかけて「第10回東京国際ミュージックマーケット（10th TIMM）」が開催されます。

今年のショーケース・ライブは10月23日に、昨年同様Zepp DiverCity TOKYOにて催されます。

出演アーティストなど、その他の詳細は、下記のTIMMサイトをご参照ください。

<http://www.timmkt.jp/>



エルマークキャラクター
エルマーくん

THE RECORD No.647 2013年10月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 斉藤 正明
編集人 田口 幸太郎
発行日 2013年10月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

「ダンス」の語源には「生命の欲求(desire of life)」という意味があるそうです。言葉を持たない人類が、欲求の発露として行った身体表現が原点ということでしょうか。そう云われてみれば動物の「求愛ダンス」はまさしくdesire of lifeそのもの…ということは、もし私達の祖先が満たされた環境にいたとしたらダンスそのものも生まれなかったのでしょうか？ (T)